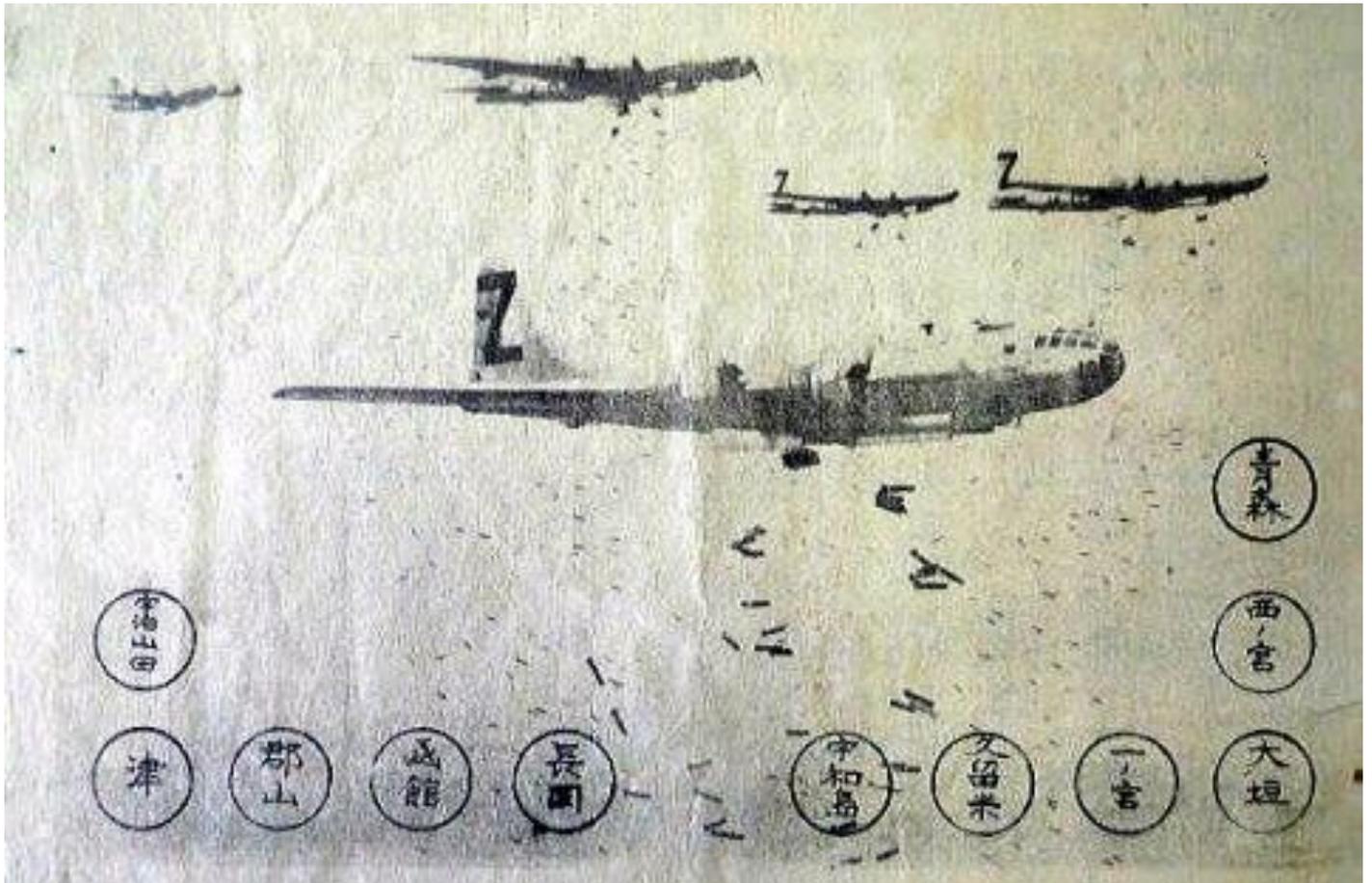


アメリカ軍が戦争中に飛行機からばらまいた「空襲予告ビラ」

(岐阜県内で発見されたものです。)



下に するんく ず樹 るれないすつあ らで人人ちは全か部品 米つ ん助命
 さ書豫 都がてこかて戦んばたふア張りア避す違道る眼部せがをこ空か敷てけをあ
 いいめ 市少もの て争でも方のメリまメ難かをまめが破るこ製の軍五日下た助な
 て注 のく爆裏 平をすつをはり込せりしら傷義分お壊為の造都はののさけけた 日本
 お意 内と撃に 知止 と解たかんんカて裏つのりりしに勝す市爆都内いれよは 日本
 るし 必もさ書 をめ よ救いのであの下にけアまま使目るに撃市に ぼう自 國民
 都て ずこれい 恢る いす軍考みな敵さ書たメせせすふの工はしに裏 こと分 民
 市お 四のるて 復様 新る部へるたはいいくりんんけ兵な場軍まお面 のはや 告
 かき つ裏かあ しな 日争のて軍方あ ては力御かれ器いが事するの 軍都 告
 らま はにもる た新 本て壓わ部をな ああは承らども米争り設 軍都 告
 避す 爆書知都 ら指 がす迫るこ戦た るり罪知ども米争り設 軍都 告
 難か 撃いれ市 と導 出さか平そ争方 都まののこ爆空をまや 軍都 告
 しら してまで う者 來うら知敵にて 市せな様に弾軍長す軍 設内 告
 て裏 まおせな てを 上すあとて引は かんいに落には引軍需 を四 請かの

爆弾には眼もなく心もない

人家稠密の都市では爆弾はあらゆる残忍な行爲をなす。米國の爆弾は軍事及び産業目標を狙ふが、頗る強力な爲附近住家も亦影響を蒙る。子供等は目前で両親の惨死を目撃し、母親は子供を奪はれ、夫と妻は永別の悲しみに遭ふ、更に酷いのは死んだ方が却つて有難い様な痛ましい人々の例もある。その力量を誇つた人々が瞬間に快復の見込なき跛者や盲目となり、聴覚を奪はれ發狂せんばかりに神経過敏になる。之迄夫や子供を甲斐なくしく世話した婦人は今や手足纏となり頗る必要な食費を割き其の醫療費にあてねばならぬ。難者した都市では悲劇的事件を惹起さない投下爆弾は殆んどない。日本が戦争を續行する限りは、爆弾は益々多數に落下する故戦争の惨忍行爲に對する唯一の矯正法は平和である。



太平洋戦争における日本軍の戦局はミッドウェー海戦から一変し、敗北の度合いを深めていきました。太平洋戦争末期には、アメリカ軍機のB29爆撃機による日本本土への空襲が激しくなりました。

1945(昭和20)年3月10日には東京大空襲が行われ、一夜にして10万人もの尊い命が失われました。それまではとても高いところからの軍需工場など目標地点を狙った精密爆撃が中心でしたが、無差別爆撃が連夜のように行われるようになりました。

その後、軍需工場がある地方都市にも爆撃が行われ日本は壊滅的打撃を受けました。この史料は、地方都市を攻撃対象としてアメリカ軍機から大量にまかれた空襲予告ビラの一部です。ビラの大きさは縦14cm、横21cmの両面印刷で、日本国民又は兵士の戦闘意欲を失わせる目的で配布されたビラといわれています。

昭和20年6月7日、大垣の上空からビラがまかれています(『岐阜空襲誌』より)。最初のビラはその時にまかれたものです。次の文には、日本語で「日本国民に告ぐ」と題して、数日中に各市内の軍需工場を爆撃すると警告しています。

その中で、「爆弾には眼がありませんからどこに落ちるか分かりません」とも書かれ、住民に避難を呼びかけられています。

また、最初の図には、編隊を組むB29爆撃機の写真を囲むように、標的とされた11の都市が記されています。要約すると以下の4点が書かれています。

- ・数日のうちに記載してある都市のうち、4～5つの軍事施設を爆撃するので避難すること。
- ・国民は悪くない。悪いのは国民を戦争に引き込んだ軍部である。
- ・戦争をやめる指導者を立てて新しい日本をつくってはどうか。
- ・記載していない都市にも爆撃するかもしれない。

しかし、当時の人々の話を聞くと、多くの人はビラを見るのがなかったようです。それは、ビラを隠し持っている人は非国民やスパイと疑われたからです。また、都市によってはビラに毒が塗ってあるという噂が広まり、市民がビラに触れないようにしたからだそうです。

こうしたビラは憲兵や警察などによって回収されたそうです。

予告通り、アメリカ軍は、昭和20年7月29日にビラに記載してあった大垣を空襲し、大垣の街は大きな被害を出しました。この空襲により、大垣城や大垣別院なども焼失しました。残った建物は大垣駅などわずかであったといい、死者50名、負傷者も100名を超えたといえます。

この空襲予告ビラは、他の都市でもまかれたようですが、最近になって、高山でもビラが発見されています。(『平成20年8月4日岐阜新聞』より)。高山では昭和20年8月2日夜、大量のビラがまかれたようです。しかし、警察や自衛団がすぐに回収して処分したとされています。

その他に、4つめの史料のように片面カラーで印刷されたビラもまかれました。このビラには、空襲後の国民の痛ましい状況を言葉と絵でリアルに伝えています。人々に恐怖心を抱かせる目的があったのでしょうか。このビラは、いつどこでまかれたのか不明です。

【用語について】

★空襲予告ビラ

…戦時中、敵国の兵士や市民の戦意を無くすことを目的としてまかれたビラで「伝単(でんたん)ともいわれた。ビラには複数の種類がある。1945(昭和20)年7月頃から全国32都市の上空でまかれたとされ、実際に約半数の都市で空襲があった。まかれたビラに記された標的の都市は、地域によって異なっている。

★ミッドウェー海戦

…太平洋戦争中の1942(昭和17)年6月5日から7日にかけて行われたミッドウェー沖で行われた海戦。アメリカ海軍は航空母艦1隻に対して、日本海軍は主力航空母艦4隻とその全艦載機を失った。この結果、日本が優勢であった空母戦力は均衡し、以後はアメリカが圧倒することになった。